

島のむんがたり

遺跡はどのようにして
発見されるのか

「○○遺跡の発掘調査が行われ、今から約○年前の生活の跡が確認されました」というようなニュースを耳にすることがあると思います。では、なぜその場所が発掘されるに至ったのでしょうか。

お城の跡や寺院、陶磁器や瓦を生産する窯跡などは、文字の記録や構造物の跡で遺跡があるのではないかと推測できます。それ以外の貝塚や集落跡、墓、水田、畑など見つけるためには、まず「分布調査」を行います。

分布調査では、遺跡のありそ



分布調査の様子(山漁港海岸)

な台地の上にある畑や、海岸沿いの砂丘地、崖沿いの場所へ行き、昔の人が使った土器や陶磁器、石器などの道具の破片が落ちていないか、構造物が地表面にないかを調べます。

ここでも疑問が出てきます。なぜ「土器や陶磁器、石器などがある」と分かるのでしょうか。

大学等で学ぶ考古学では、土器や陶磁器、石器などの見分け方や、時代・年代を特定する方法について学びます。(中には独学で学ぶ人もいます。) また、遺跡の発掘調査に携わる人の多くは、様々な文献や資料を調べ、詳しい人から話を聞いて学び、年代を特定したり新たな発見に至ることもあります。

分布調査により特定の場所で土器や陶磁器などを見つけた場合は、地図にその範囲を示し、場合によっては遺跡があることを国に報告します。そして、文化財を守る法律で遺跡を保護することとなります。(郷土資料館 大屋匡史)

問 郷土資料館

☎ 0997-82-2908